

GRS-7042-2105

タフリックスグリースRB

耐熱・耐水・耐腐食性リチウムコンプレックスグリース

タフリックスグリースRBは、水酸化リチウムと2種類の脂肪酸を組み合わせることで複合（コンプレックス）化したリチウムセッケンを増ちょう剤に使用したグリースです。当社独自の製法により強靱な増ちょう剤構造を有し、せん断安定性、耐熱性、耐水性に優れています。また、有機モリブデン、極圧添加剤、さび止め剤を最適な割合で配合することにより耐荷重性、耐摩耗性、耐腐食性を飛躍的に向上させた万能タイプのリチウムコンプレックスグリースです。特にコロ軸受（ローラーベアリング：RB）用途に最適なグリースです。

●特長

1. 耐熱性が高く、温度によるちょう度変化が小さい

タフリックスグリースRBは、増ちょう剤にリチウムコンプレックスセッケンを使用しており、温度変化によるちょう度変化が小さく、高温の潤滑箇所でも使用可能です。

2. 軸受温度上昇が少ない

タフリックスグリースRBに使用しているリチウムコンプレックスセッケンは、介入性（浸透性）に優れており、一般的なリチウムセッケン系グリースに比べて、コロ軸受における温度上昇が抑えられ、機器の寿命延長が期待できます。

3. 耐水性、耐腐食性が優れている

タフリックスグリースRBは、水が混入した場合でも軟化、流失しにくく、優れた耐水性を有しています。また、最適なさび止め剤の配合により、耐腐食性に優れており、水（白水）が使用される製紙工場の抄紙機において、数多くの納入実績を有しています。酸性雰囲気下で使用される軸受に使用することにより、さびによる軸受交換の頻度を低減することが可能です。

4. 耐荷重性、耐摩耗性が優れている

タフリックスグリースRBは、有機モリブデンと極圧添加剤を配合しており、優れた耐荷重性、耐摩耗性を有しています。

超大型トレーラー（積載時重量100トン以上）のホイール軸受にタフリックスグリースRBを充填して行なった実車走行試験において、他社リチウムコンプレックスグリース（海外品）と比べて軸受の摩耗状態が良好であり、ちょう度変化、グリースの軸受への付着状態も良好な結果が得られています。

●用途

(1) 大型産業機械の転がり軸受

製紙会社の抄紙機（白水がかかるウエットパートのロール支持軸受）や酸性雰囲気条件が存在する亜鉛めっき工場の軸受など

(2) 荷重のかかる大型車両のホイール軸受など

(3) 電動機、送風機などの転がり軸受

(4) 熱・荷重・水のかかる一般潤滑箇所

●荷姿

180kgドラム、16kgペール缶、400gジャバラ×20

●タフリックスグリースRBの代表性状

種類	0号	1号	2号
増ちょう剤	リチウムコンプレックス	リチウムコンプレックス	リチウムコンプレックス
外観	黄色半固体	黄色半固体	黄色半固体
ちょう度 (25℃, 60回混和)	363	315	286
滴点 ℃	245	250以上	250以上
離油度 (100℃, 24h) mass%	8.6	3.2	0.3
銅板腐食 (100℃, 24h)	緑色・黒色の変化なし	緑色・黒色の変化なし	緑色・黒色の変化なし
高速四球試験 融着荷重: WL N	3923	3923	3923
さび止め性 (EMCOR試験: 人工白水)	#0 (さびなし)	#0 (さびなし)	#0 (さびなし)
水洗耐水度 (38℃, 1h) 流出量 mass%	10	2	0
使用可能温度範囲 (目安)		-20~175	
消防法危険物分類		非危険物	

代表性状値は、商品の改訂等により予告せずに変更場合があります (2021年5月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、増ちょう剤、潤滑油添加剤
絵表示：	
注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	強い眼刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 臓器(血液系)の障害のおそれ 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">• 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。• 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。• 眼に入れないこと。飲み込まないこと。• 環境への放出を避けること。• 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。• 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。• 取り扱い後はよく手を洗うこと。• この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">• 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。• 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。• 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。• 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。• 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。• 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。• 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。• 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管	<ul style="list-style-type: none">• 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。• 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。• 施錠して保管すること。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">• 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。• 不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。